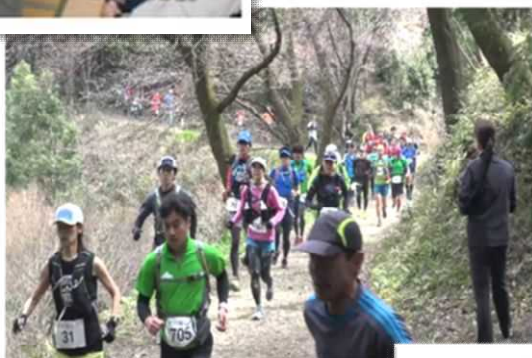


青梅市 自治会・支会 活動事例集

令和 7 年度版



編集・発行 青梅市自治会連合会・青梅市

自治会・支会活動事例集 目次

第1支会の年間活動状況	
第1支会	4
東京都地域の底力発展事業助成金活用例	
第1支会	5
地域挙げての凧あげ大会	
下長淵連合自治会（第2支会）	6
友田町夏まつり	
友田町連合自治会（第2支会）	7
大門第二自治会活動報告	
大門第二自治会（第3支会）	8
盆踊り大会に「地域の底力発展事業助成」を活用	
今寺第四自治会（第3支会）	9
「赤ぼっこ」の整備活動	
第4支会	10
ファミリーゴルフ大会	
第4支会	11
東京都地域の底力発展事業助成「講師おまかせスマホ教室」の開催	
第5支会	12～13
小曾木地区文化祭	
第6支会	14
東京都地域底力発展事業助成金事業「富岡納涼祭」	
富岡自治会（第6支会）	15
第7支会 成木7丁目自治会	
成木7丁目自治会（第7支会）	16～17
第八支会「東京都地域の底力発展事業助成」活用事業	
（第8支会）	18～19
第9支会 新町7・8・9丁目自治会活動報告＜補助金等の有効活用＞	
新町7・8・9丁目自治会（第9支会）	20～21

支会で自治会員加入促進活動を実施
第10支会・・・・・・・・・・・・・・・・・・22

河辺町5丁目自治会納涼夏祭り
河辺町5丁目自治会（第10支会）・・・・・・・・・・23

防災訓練
第11支会・・・・・・・・・・・・・・・・・・24

今井・藤橋合同第11支会夏祭り
第11支会・・・・・・・・・・・・・・・・・・25

《参考》

東京都「地域の底力発展事業助成」・・・・・・・・・・26～27
今回の活動事例集の中でも、この助成を受けた事業が掲載されています。是非ご活用ください。

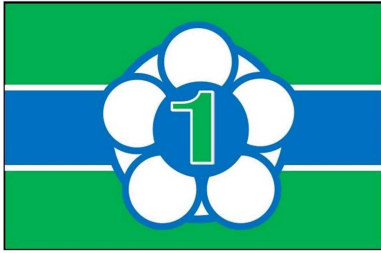
自治会・支会 活動事例集の発行にあたって

青梅市内には、令和7年度現在11の支会、159の自治会があり、それぞれの地域特性にあったさまざまな活動を展開しています。

魅力ある自治会・支会活動を事例集としてまとめ、活発に取り組まれている自治会活動を広く市民の皆さんにお知らせすることとしました。

各自治会の活動内容や、地域の安心・安全のための防災活動などを掲載していますので、自治会活動の参考にご活用ください。

青梅市自治会連合会・青梅市



～ 第 1 支 会 の 年 間 活 動 状 況 ～

第 1 支 会 支 会 長 荒 井 紀 善

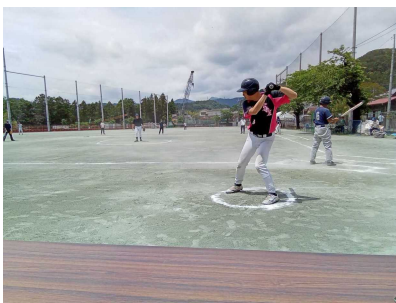
例年 第 1 支 会 の 一 年 は、1 月 の「正 副 自 治 会 長 等 新 年 会」に 始 ま り、3 月 に 翌 年 度 の「役 員 選 考 会 議」を 経 て、4 月 の「第 1 支 会 定 期 総 会」と 続 き、い よ い よ 5 月 2 日 3 日 の 両 日 に は「青 梅 大 祭」と いう 一 大 行 事 を 迎 え ま す。



第 1 支 会 新 年 会 の 様 子

そ の 後、「自 治 会 対 抗 ソ フ ト ボ ー ル 大 会」か ら 6 月 の「青 梅 地 区 防 災 訓 練」8 月 の「多 摩 川 一 万 人 清 掃 大 会」を 行 い ま す。

10 月 か ら は「青 梅 地 区 市 民 運 動 会」、11 月 の「ビ ー チ ボ ー ル 大 会」、「フ ァ ミ リ ー ゴ ル フ 大 会」と 続 き、12 月 の「避 難 場 所 開 設 訓 練」・「消 防 団 歳 末 警 戒 激 励 会」と いう 防 災 行 事 で 終 了 し ま す。



青 梅 地 区 ソ フ ト ボ ー ル 大 会 の 様 子



防 災 訓 練 の 様 子



青 梅 地 区 市 民 運 動 会 の 様 子

自 治 会 加 入 率 の 低 下 が 著 し い 昨 今 で す が、第 1 支 会 で は、「地 域 防 災」と「地 域 防 犯」は、自 治 会 加 入 の 契 機 と な る 活 動 で あ る と の 考 え に 立 ち、こ こ 数 年 は 特 に 注 力 し て い ま す。

大 き な 改 革 は 難 し い か も し れ ま せ ん が、今 年 も 地 域 の 自 治 会 員 と 共 に、地 域 に 根 差 し た 支 会 運 営 を 行 い た い と 思 い ま す。

「東京都地域の底力発展事業助成金活用例」

【第1支会】

1 申請内容

- (1) 申請区分:A 地域の課題解決のための取組
- (2) 助成率:10/10 ※特例を活用
- (3) 助成申請額:1,000,000円
- (4) 団体概要:会員世帯数 2,732世帯、構成団体 17団体

2 事業計画

事業名称:青梅大祭



申請概要:

- *地域の課題解決……「祭り」
- *防災節電……「普及啓発チラシ配布」
- *子ども・若者育成支援……「伝統文化の継承」
- *多文化共生社会づくり……「理解促進チラシの配布」
- *期待される効果……「青梅大祭は、青梅市自治会連合会第1支会の17町すべてが参加する自治会における最大のコミュニティ事業で、青梅市内の他地域に比べて自治会加入率も高くなっている。このことから、防災対策にも多文化共生社会の実現にも寄与していると考え。」
- *実施上の工夫……「青梅大祭実行委員会を発足させ、幅広い地域人材の力を集め、幅広い年代の参加、そして青梅市のPR、更に多文化共生理解チラシ・防災に関する普及啓発チラシを多くの方に配布し、現代社会の課題解決も図っている。」

3 支出内容

- (1) 印刷経費:14万円(大祭ポスター、啓発チラシ等)
- (2) 役員費:30万円(賠償責任保険料)
- (3) 委託料:32万円(本部檣の運搬・設置・撤去)
- (4) レンタル・リース料:29万円(祭り山車 GPS 設備・運営)

4 申請経過

- (1) 申請日:令和7年2月28日
- (2) 交付決定日:令和7年4月1日
- (3) 交付額確定日:令和7年8月26日(1,000,000円)

【裏宿町2丁目自治会】

1 申請内容

- (1) 申請区分:A 地域の課題解決のための取組
- (2) 助成率:10/10 ※特例を活用
- (3) 助成申請額:200,000円

2 事業計画

事業名称:裏宿町納涼盆踊り大会



地域挙げての凧あげ大会

下長淵第四自治会長・下長淵連合自治会長 宇津木 順一

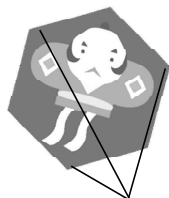
下長淵には地域の中に広い多摩川の河原があります。そこでこの広い河原を利用して正月の楽しい行事として、地域の子供たちを対象に毎年凧あげ大会を行っています。令和6年度(第11回)は子供たちが約80名参加し、応援する大人の皆さんが約100名参加協力しました。

< 凧作り >

当日は、午前中は自治会館で凧作りをします。準備した竹ひごや用紙、タコ糸等で子供たちが自分たちで凧を作ります。初めに凧に張る用紙の図柄に思い思いに色を付けて絵を完成させます。子供たちの個性が大いに発揮され、一人一人の特徴ある凧ができます。

当初は凧作りの名人から作り方を教えてもらっていましたが、今は、作り方を覚えた自治会役員が凧作りの先生になって子供たちへ教えています。出来上がった凧へ役員が糸をつけます。凧に糸目糸を通す位置などが重要で、糸の通し方を身につけた役員が糸をつけて凧が完成します。

子供たちは自治会館で午前中いっぱいかけて凧作りに励んだ後、完成した凧を持って多摩川の河原へ降りていきます。



< 豚汁とピザで昼食 >

自治会館の炊事室では、PTAや長寿会、青少健などの皆さんが昼食用の豚汁を準備します。河原ではドラム缶でピザを焼き、自治会館で準備した豚汁を温めます。火を使いますので、消防団も出動し、火を見守ってもらっています。みんなでピザや豚汁でゆっくりと昼食を味わいます。



< 凧あげ >

昼食後、いよいよ子供たちは、完成させた自分の凧を持って河原に散り、凧あげに臨みます。風の強さや向きを確かめながら凧あげに挑戦します。凧が風を受けてタコ糸から伝わってくるぐいぐいとした感触を子供たちに味わってもらいたいと思いつつ、子供たちの凧あげを見守ります。

子供たちを中心に大人たちも子供時代を懐かしみながら、一緒になってお正月の一日を凧作り、凧あげで楽しんでいます。また、この凧あげ大会には、地域の外国の方、高齢者の方も参加し、多文化理解、世代間交流を深めています。

なお、本事業は東京都地域の底力発展事業助成を受けて実施しています。



令和7年度 友田町夏まつり



令和7年7月26日(土)、恒例の友田町夏まつりが盛大に開催されました。

会場は活気にあふれ、定番の炭坑節に始まり、迫力あるダンシング・ヒーローが響き渡りました。子供たちに大人気のジャンボリミッキーでは、たくさんの笑顔が見られ、地元になんだ御嶽袖唄、帯の長宿の流れるような踊りが、祭りに華やかさと伝統の風格を添えました。

今年も特別ゲストとして、日本航空高校ウィングダンスカンパニーが登場。切れのあるパフォーマンスで会場を沸かせました。さらに女性3人組 和太鼓 雅の力強い演奏が、祭りの雰囲気を一層盛り上げました。



司会は、TCNのタマちゃんカナちゃんが軽快なトークで場を盛り上げ、来場者を楽しませてくれました。



青少健や小P、中Pなど、多くの共催団体の協力により、飲み物や焼きそば、焼き鳥といった美味しい模擬店が軒を連ね、踊り以外でも十分に楽しめる内容となりました。



地域の絆を深める素晴らしい一日となった友田町夏まつり。来年の開催も今から楽しみです。

会場 友田町自治会館前広場
主催 友田町連合自治会

共催団体及び協力団体 (敬称略)

- ・ 氏子総代 ・ 自治会館運営委員会 ・ 友田小PTA
- ・ 二中友田地区委員会 ・ 交通安全協会友田班
- ・ 消防団第2分団第1部 ・ 環境美化委員会
- ・ 友田町青少年健全育成地区委員
- ・ 友田町体育委員会 ・ 友田町郷土芸能保存会
- ・ 白菊会 ・ 町有財産管理委員会
- ・ 友田町保育園 ・ 友田保育園理事長
- ・ 第1町内会 ・ 第六地域会



大門第二自治会活動報告

第3支会 大門第二自治会会長 松本福次郎

大門第二自治会では会員・非会員に関係なく地域住民に対し、毎月「第1日曜日」に資源回収を実施しております。近年の地球環境問題やゴミの削減・リサイクルの一環として、自治会役員・環境美化委員はじめ、一般住民の皆さんも参加し大切な資源の有効利用活動を推進しています。しかし、最近では参加人数が減少し対応に苦慮していましたが、一昨年からは隣組員に対し強制ではなく任意の隣番制での参加をお願いしたところ、徐々に参加者も増え、作業の場から新しい近隣住民との触れあいも出来始めております。

また、資源回収を行いながら一人住まいの「特別会員」宅に対し自治会の現状や活動報告をしながら同時に安否確認も行っています。現在、大門第二自治会では「特別会員」が10名登録されており、高齢・その他の理由で自治会活動が困難により一般会員から「特別会員」に移行し隣組員からも抜けます。そのための対策として、資源回収や回覧物の配布時を活用して自治会役員がそれぞれ一人住まいの高齢者宅を訪れ世間話をしながら近況を聞くことで、皆様との触れあいの中から安心・安全に暮らせる自治会の存在を改めて感じていただいております。しかし、今後ともこの様な活動を維持するためには、次世代の自治会役員にどう継承出来るかが今後の大きな課題となっております。

また、同時に新規に引っ越された住民の皆様に対しても資源回収の案内をしながら自治会加入促進もやっております。何軒かの新規加入もありました。この様な地道な活動の中から自治会活動が少しでも理解され地域住民との助け合いの輪が広がる事が、万が一の大規模災害に於いても役立つ事と期待しております。

今後とも資源回収活動を通じ、高齢者の安否確認・新規住宅への自治会加入活動・大規模災害時の助け合いの輪を広げる取り組みを継続してやっていきたいと考えております。



盆踊り大会に「地域の底力発展事業助成」を活用

第3支会 今寺第四自治会会長 國生隆利

東京都では、地域の自治会が行う「地域課題を解決するための取り組みを推進し、地域力の向上を図る事業」に対し助成を行っています。対象となる事業の中には防災・節電活動や高齢者の見守り活動や地域の課題解決のための取組などがあります。

当自治会では、今年度、事業区分「地域の課題解決のための取組」として盆踊り事業を申請しました。過去にも助成を受けているため、本来ですと20万円の半額となるところですが、「多文化共生社会づくり」と合わせることで20万円の助成が可能となります。

助成を受けるためには、申請受付期間に申請書を提出する必要があり、4月末に7月10日以降実施する事業として申請しました。

申請書は事業計画書と収支予算書を提出。助成金が20万円なので、実績報告を簡単にするため、総事業費のうち助成対象額を焼きそば材料費8万円、電気工事12万円とし、そのほかは補助対象経費として申請しました。このことにより実績報告や領収書・写真の添付が簡素化されます。

7月には東京都から【助成金交付決定通知書】が送付されました。事業実施後、2週間以内の実績報告書と決算書・領収書、助成対象の写真を提出することになります。実績報告に問題がなければ確定通知が送付されます。

審査が厳しいなどの声をよく聞きますが、申請の仕方によっては簡単に申請できますし、20万円から場合によっては100万円の助成が受けられます。積極的に利用してはいかがでしょうか。

当自治会では、令和7年7月19日(土)に盆踊り大会を開催し、この助成を活用しました。盆踊り大会は地域の方々とのコミュニケーションを作る大切なものとして位置付け、高齢者の方々や多くの子供たちの参加、さらには障がいをお持ちの方々の参加を目指し、実行委員会を作りスタートさせていきました。具体的には櫓の設置から子供たちが喜ぶ景品、来賓の接待や飲み物の選定さらには焼きそばなど、大会に向けた検討と準備です。その結果、昨年までは8畳程の櫓を立てていましたが、安全性の面からパイプを使った簡易的なものに変更しました。子供達には蛍光腕輪やかき氷、ソフトドリンクを配布しました。このように地域の底力発展事業を活用することで、焼きそばや子供たちへのお土産などを無償とすることにつながることができました。



「赤ぼっこ」の整備活動

第4支会

第4支会は、畑中、和田町、梅郷、柚木町の4地区13自治会で構成され、地域内には、梅の公園、青梅きもの博物館、吉川英治記念館のほか神社仏閣など名所が数多くあります。

和田町には「赤ぼっこ」（標高409.5m）という山があります。

山頂からは遠くに筑波山、東京スカイツリー、新宿のビル群や奥多摩の山々や眼下には、多摩川と青梅西部の街並みを見ることができ、また、道が整備されていて歩きやすくなっていることから多くの方が訪れています。



▲ 山頂から市西部を望む

この「赤ぼっこ」の整備は、和田町自治会と和田町森林組合で平成20年に東京都の「花粉の少ない森づくり運動」に協力して、杉の木約250本を伐採した後、登山される方の安全と楽しんでもらうために、山桜や紫つつじ等の植栽、山頂東西の眺望案内板や赤ぼっこ由来説明板を設置したほか、年2回の下草刈りなどを行っています。



令和7年5月、大勢待市長に現況視察をお願いし、市職員、自治会および森林組合有志で登った際に、市長から眺望の素晴らしさと、これまでの取組に対し労いの言葉をいただきました。

また、山頂までの道案内板を市で整備してもらいました。今後も市の魅力のひとつとして、訪れる方に喜んでいただけるよう環境整備を図っていきます。



下草刈り ▶

ファミリーゴルフ大会



第4支会では、体育振興会主催のファミリーゴルフ大会を11月に第五小学校のグラウンドで開催し、晴天の中、74名の方が参加されショートからロングまで多様なコースに果敢に挑まれていました。

大会には、95歳の方も参加されました。ご高齢ではありましたが、他の参加者と一緒に18ホールを元気に回られていました。

また、ホールインワン賞も出るなど、半日ではありましたが、皆さん和気あいあいと楽しいひと時を過ごされてきました。

このファミリーゴルフ大会は、健康づくりと体力増進を図るとともに、地域の親睦と世代間交流を目的に実施しています。

これからも各種スポーツ大会を通して、地域の皆さんの健康と交流の場づくりとともに地域の活性化を進めていきます。



東京都地域の底力発展事業助成

「講師おまかせスマホ教室」の開催

第5支会 二俣尾2丁目自治会(100世帯)
自治会長 大野 芳男

二俣尾2丁目自治会では、災害やその他緊急時の連絡、また広報を迅速に行う方法のひとつのツールとして、一斉メールによる連絡網を作ろうと検討し、令和3年度からは無料で使えるメーリングリストによる一斉メールを開始しました。しかし登録者は3割強と少ない状況でした。

そうした中、東京都の「地域の底力発展事業助成」のひとつである「講師おまかせスマホ教室」は、自治会が会場の準備と受講者の募集を行うことによりスマホ教室の講師が東京都から派遣され、さらに教室で使用する感染対策グッズや機材などの購入ができるという事を知り、スマホに慣れてもらえれば、一斉メールの利用も広がるのではとの思いもあり、令和4年度に初めて応募しました。



幸い受講の決定が得られて令和5年2月12日(金)に実施しました。しかし当日に向け参加者が予定したより少なかったことから、近隣の自治会



にも呼び掛け、20名弱の参加者で行うことができました。

講習では、講師とアシスタントの方が4～5人に一人ついてくれていることから、3時間の講習で個別の疑問にも答えていただき、参加者からはとても好評でした。



その後令和5年度、令和6年度も続けて実施し、その都度丁寧な講習と、個々の対応もして頂き、参加者から喜ばれています。

一方自治会員への連絡網は、利用者も多いLINEを使った方が利用が広がるのではないか、との声もあり見直しの検討を進めてきました。

そして、令和7年度からは無料の範囲でのLINE公式アカウントに変更し、自治会員の皆さんに登録をお願いしました。

その結果登録者は5割近い方に登録をいただき、この間、熊の出没情報や空き巣の注意喚起、行事への参加の呼びかけなどを行っています。



スマホ教室は令和6年度まで3回実施しましたが、LINEによる連絡網の登録の増加に少し寄与したのではないかと思います。引き続き紙の回覧もしていきますが、今後もこのような取り組みを進めて行きたいと思えます。

小曾木地区文化祭

11月8日（土）、9日（日）の2日間、小曾木地区文化祭実行委員会が主催する文化祭が、市民センターで開催されました。

地域のサークルや団体、小・中学校、保育園、福祉施設や個人から、多く作品が出展されました。

8日（土）は、農業祭農産物共進会と六中生徒によるお点前の披露。9日（日）は小曾木っ子まつりが同時開催。バルーンアート、お囃子、おそきウインドアンサンブル青樹のミニコンサートも開催され、2日間で延480人の方にご参加いただきました。



農業祭



六中生徒によるお点前



お囃子の披露



青樹によるミニコンサート

東京都地域底力発展事業助成金事業

第6支会 富岡自治会 自治会長 加藤博行

「富岡納涼祭」と銘打って令和7年8月16日(土) 17:00～21:00の時間帯に盆踊り大会を催しました。

毎年恒例となっている事業ですが、地元ボランティア・スタッフ35名程でやぐらを組んだり、10店舗ちかくの出店を出したりと色々と対応におわれました。

また今年も地元JAさんに子供向け無料のスーパーボールコーナーを設置頂きました。こども達には700円分の無料券を配布し、その範囲内で色々なゲームや食べ物を楽しんで頂きました。参加人数は250人程でした。

毎年春の花見に東京都底力発展事業助成金を使っていましたが、桜の開花が年度内の3月中より遅れることが続き、今年度はこの「富岡納涼祭」使わせて頂きました。

(1)ゲームコーナー準備中

